様式第３号

平成 30 年度　学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	６９（分）	学 校 名	天竜高等学校春野校舎	校 長 名	織田　敦

評価	基　　準	評価	基　　準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	**多様な生徒に対する学習指導体制を整え、基礎学力の向上を図る。**	・授業の進度はちょうど良いと答える生徒の割合 （90%以上） ・先生は丁寧に教えてくれていると答える生徒の割合 （90%以上）	B	A	・学力差の大きい生徒たちに先生方はよく対応してくれている。 ・生徒のやる気が根本であるので、90%以上という目標はなかなか大変だと思う。目標は超えていないが 86%でも素晴らしいと思う。 ・先生方には引き続きやる気を引き出す授をお願いしたい。
		・家庭学習時間の平均 （平日 45 分以上） （ﾃｽﾄ前 90 分以上） ・家庭学習時間調査 （年間４回実施）	B	B	・家庭学習のやり方自体がわからない生徒もいると思われるので、校内での個別指導中心でやっていかざるを得ないか。 ・自己申告の学習時間のなので、実態はわからない部分もある。 ・学習しただけ実力になるので、平日 45 分を最低ラインとして努力させたい。
イ	他者をいたわり、人間関係を大事にする心を養い、問題行動の未然防止を図る。	・問題行動の件数を前年度より減少させる。 （昨年度３件４名）	B	B	・SNS の問題は学校だけで対処していくには難しい問題であろう。（家庭の協力が必要） ・SNS の問題は生徒も頭ではわかっていても、自己満足でやってしまうものだと思われるので、寄り添って指導していくしかないと感じる。
		・安心して落ち着いた学校生活を送っていると答える生徒の割合 （85%以上）	B	B	・先生方は今まで通りたいへん面倒見がよく、相談にも乗ってくれているが、生徒どうしが人間関係をうまくつくれないで不安定になってしまう。 ・生徒同士のコミュニケーションづくりもその機会を大人が設けてやらないと難しいのかもしれない。 ・SNS で起こってくる問題は、大変陰湿で学校だけでは指導が難しいと痛切に感じる。

様式第３号

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ウ	**生徒一人ひとりに寄り添い、よりよい進路を見つけ、その実現を図る。**	・進路についての指導が適切になされていると答える生徒の割合 （85%以上）	A	A	・卒業後も進路の相談に乗ってくれるのはありがたい。
		・学年に応じて、進路講話や企業・学校見学、進路ガイダンスを実施	A	A	・今後、春野町内の生徒はもちろんのこと町外の生徒でも「春野町に就職したい」という生徒が出てくるといいと思う。
エ	環境を整え、部活動、特別活動、読書活動において、充実感が得られるよう指導する。	・部活動に積極的に参加し充実していると答える生徒の割合 （75%以上）	A	A	・夕方になって、太鼓の音など部活動を頑張っている様子が感じられてよい。 ・５部活という少ない部活動しかないにも関わらず、「充実している」と答える生徒が 85%というのはすごいことである。
		・学校行事が充実していると答える生徒の割合 （85%以上）	B	B	・全校生徒が少ないので、一人ひとりが各行事で果たす役割が重くなってくるのは仕方がない。中には意に沿わないことをやらなければいけない生徒が出てくるのも仕方がないことである。
		・朝読書の時間は読書に親しむのに役立っていると答える生徒の割合 （80%以上） ・生徒一人当たりの年間貸出冊数 （４冊以上）	B	B	・貸出冊数は、読書がとても好きな生徒が数名いれば数字は上がってくるものだと思う。 ・読書以外にも余暇を過ごすためのアイテムがいろいろある時代であるので、読書を促すのも大変である。
オ	**自己健康管理ができる生徒を育成するとともに、教育相談体制の充実を図る。**	・保健関係たよりの発行 （月１回） ・生徒の状況把握調査 （年２回実施）	A	A	特になし
		・先生は悩みや相談に親身になってくれると答える生徒の割合 （85%以上） ・生徒サポート委員会 （週１回開催）	B	A	・先生方が生徒一人ひとりの顔をわかっているのは心強い。 ・毎週のように生徒サポート委員会で生徒の情報共有をすることはすごいことだ。 ・家庭で相談できないことを学校に持って来る生徒もいるのではないか。 ・マンツーマンで先生方が相談に乗ってくれるのは、学校の特色としてありがたいこと。 ・高校生になったからといって、心もすぐに変わるということはないので、先生方もご苦労されていると思う。

様式第３号

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
カ	校内の危機管理体制を整備するとともに、危機管理意識を向上させる。	・防災訓練実施 （年間３回） ・地域防災参加率 （60%以上）	A	A	特になし
キ	地域・保護者との連携を推進し、信頼される学校づくりを行う。	・地域との交流やボランティア活動をしていると答える生徒の割合 （50%以上） ・春埜祭へのＰＴＡ役員出席率 （90%以上）	B	A	・ PTA の役員出席率が 100%というのは素晴らしい。 ・春野町の駅伝大会では、本校のボランティア部が活躍してくれて、大変助かった。 ・地元の高校として、地元でボランティアをしていただける機会が多いのは、大変ありがたいことである。 ・生徒たちが交流やボランティアを特別なことと捉えていない（普通のことと捉えている）のでパーセントが低いというのは、自然体で臨んでいるということ。 ・今後も学校の存続をぜひお願いしたい。
		・春校だより発行 （年間４回以上） ・ＨＰの更新 （毎月２回以上）	A	A	特になし
		・監査・検査の文書指示・指摘件数 （０件） ・校内での事故・災害箇所（０件）	A	A	特になし
コ	研修を通じて教職員の資質の向上を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	・職員研修会の実施 年５回	A	A	・生徒の研修会ばかりでなく、先生方もたくさん研修をしているのですね。
		・不祥事根絶研修の実施　　月１回	A	A	特になし
		・定時退勤日の実施 週１回	B	B	・保護者が働いていることが多くなり、夜でないと学校と連絡がとれなくなっているが、最近は先生も早く帰ってしまうのでなかなか難しい。